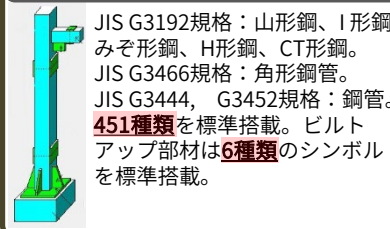




鋼材データ



他CADシステムで作成された建築構造物等のモデルデータ（DXF,DWG,DGN, STL,VRML）を参照として取り込み可能。

各種図面
工事量
材料集計

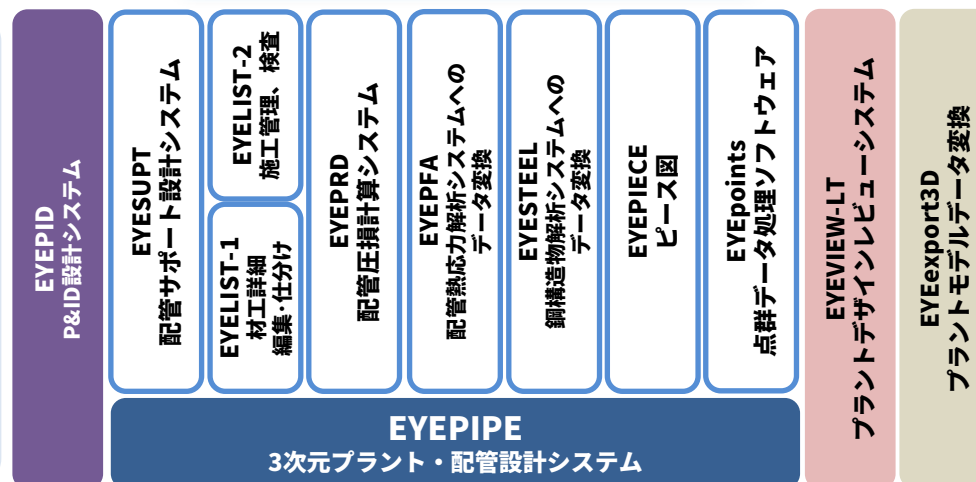
配管溶接点情報

EYECADとは？

日本発
現場主義・顧客志向
豊富な実経験がベース

1990年4月に初版を発表。国内エンジニアリング各社の豊富な経験をベースに徹底的に現場主義・顧客志向で開発が行われた純国産の3次元プラント設計CADシステムである。それゆえにその使い易さが評価され国内200事業所以上で利用され多種多様の2,400プラント以上（輸出含む）での運用実績がある。

製品構成



推奨動作環境

OS	Windows 10、11 Professional（64bitのみ）
CPU	Core i5、i7、i9、Xeon E3以上 （EYEpoints利用の場合Core i7、i9、Xeon E3以上）
メモリ	8.0GB以上（EYEpoints利用の場合16GB以上）
HDD	80GB 以上
ドライブ	DVD
グラフィックボード	NVIDIA社Quadro、GeForce、RTX、Tシリーズ グラフィックボードは、PCによって相性が異なります。 PCメーカーまたはPC購入先へご確認ください。 （EYEpoints利用の場合グラフィックスメモリは2GB以上）
MS Office	各種帳票類出力には、Microsoft Excel 2013® 以降（32bit版）が必要。

導入のねらい

見積精度の向上

1. プロポーザル段階で工事積算を短時間に算出する。
2. 応札用プレゼンテーション資料を短時間に作成する。

設計品質の向上

1. 組込まれたエンジニアリングKnow-Howで3次元モデルをチェックする。
2. プラントデザインレビューシステムの活用により操作性・保全性を確認する。

工事品質の向上

1. 設計品質向上により現地手直しを削減する。
2. プレファブ化率を向上させ、現地溶接を減らす事で溶接品質を向上させる。

期間短縮

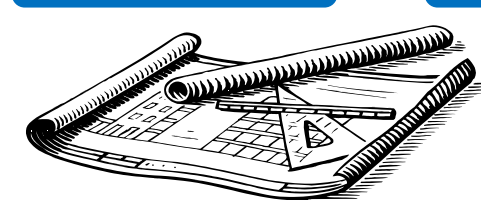
1. 標準化による設計業務の効率改善で、設計期間を短縮させる。
2. プレファブ化率を向上させ工事期間を短縮させる。

コストダウン

1. 設計コストを削減させる。
2. 工事コストを削減させる。
3. 材料コストを削減させる。
4. 検査コストを削減させる。

2次元CAD（or 手書き）との比較

配管設計プロセスの比較



紙図面を利用したデザインレビュー
平・側・立面から情報を読取る必要があり、伝える情報に誤解や漏れが発生する。高い質の情報を多くの担当者に同じレベルで伝えるには時間と労力がかかる。結果的、現場がスタートしてから、お客様からの要望が多くない手直しが発生する可能性があり。工程の遅れや品質低下を引き起こす可能性がある。



3次元モデルを利用したデザインレビュー
プラント設備内部に入り込み、操作性、保全性を確認する。紙図面と比べ物にならない情報量を短時間に多くの担当者に解り易く伝える事が可能。この段階でお客様の要望を全て取入れ後戻りを減らす。必要があれば、その場でモデル変更を行い承認をもらう事ができる。

Point !!

・ EYECADを利用する事でデザインレビューの承認後、配管組図、スプール図、材料集計を同時に作成する事が可能です。例えば配管図が無くてもスプール図を自動出力可能です。スプール図が無くても正確な材料集計を自動出力可能です。2次元CADや手書きではそうはいきません。

・ 設計終盤を迎え、突然の設計変更が発生してもEYECADでは3次元モデルを修正するだけで、組図、スプール図、材料集計の内容が自動的に更新されます。

これらのことは設計期間の短縮だけでなく、高い品質とプロジェクト全体の進捗を予定通り進める事に貢献します。